

【全体評価】

○ 感染状況を示す3つの指標がいずれも緩和の目安を下回り、十分な医療提供体制も確保されていることなどを総合的に判断し、「東京アラート」を本日解除するとともに、6月12日（金）0時をもって「ステップ2」から「ステップ3」へと移行する。

引き続き、都民・事業者に対して、感染防止策の徹底を呼び掛けるとともに、感染状況について適切にモニタリングを行っていく。

（感染状況等の評価、都民・事業者への呼び掛け）

- 新規陽性者数の移動平均がここ数日20人を下回った水準で推移しており、新規陽性者における接触歴等不明率も5割を下回っている。週単位の陽性者増加比は1を超えて推移していたが、本日1を下回った。
- 陽性者の状況をみると、半数以上が濃厚接触者であり、先週に引き続き、集団感染がみられるほか、接待を伴う飲食店、いわゆる夜の街関連の陽性者が多い。
- 医療提供体制等も、指標で示す数値が低位で推移しており、十分確保されている。
- 休業要請等の緩和措置については、「ステップ2」への移行判断から約2週間が経過し、指標は緩和の目安を下回っている。
- これらの状況を総合的に判断し、本日「東京アラート」を解除し、6月12日（金）0時をもって「ステップ2」から「ステップ3」へと移行する。
- 都民・事業者に対しては、引き続き、夜の繁華街などで3密の危険がある場所には十分注意するとともに、今後、「ウィズ コロナ」という新たなステージに立って、第2波に備えた適切な感染防止策を講じつつ、経済社会活動や都民生活を営んでいくことを願います。